

3 主要事業の概要

基本目標1：元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

■望ましい街の姿

多くの企業が、時代の変化に対応した事業展開に取り組むとともに、市民やNPOは、積極的に起業に挑戦しています。また、札幌のさまざまな資源を活かした高い競争力を有する産業が育ち、新たな製品や技術がさっぽろブランドとして国内外に発信されるなど、経済は活力に満ちています。

働く側にとっても、男性女性ともに、多様な就労の機会が充実するなど、生きいきと安心して暮らしています。

また、四季を通じて、国内・海外から多くの観光客が訪れるとともに、数々のコンベンションが開催され、さまざまな国、地域の人々や産業、文化が交流しており、国際都市としての環境づくりが進むなど、まちは活気に満ちています。



重点戦略課題	中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援
■施策の基本方針 札幌のまち全体を元気にするため、札幌経済を支える中小企業や新しい事業を起こそうと挑戦する市民、NPOに対し、「札幌元気基金」として500億円規模の資金の枠組みづくりを進め、ニーズに応じた効果的な資金面での支援を強化するとともに、専門家によるアドバイザー制度、人材育成や情報提供の充実など、実効性の高いきめ細やかな支援を行います。	

施策・事業名	事業概要	事業費
資金面での支援の充実		
札幌元気基金事業（小規模事業 元気資金【普通資金、短期資金】）	小規模事業者を対象とし、長期（3年以内）・短期（1年以内）の無担保融資制度を創設	526百万円
札幌元気基金事業（経営革新支援資金 【一般資金、札幌ブランド推進資金ほか】）	事業拡大に意欲的な中小企業等を対象とし、事業評価機関を活用した無担保融資制度を創設	6,644百万円
札幌元気基金事業 （さっぽろ元気NPOサポートローン）	市民活動団体が金融機関から活動に必要な融資を円滑に受けられるよう支援を実施	23百万円
中小企業金融対策資金	中小企業に対する運転資金、設備資金等の貸付	227,035百万円
人材育成、情報提供などのきめ細やかな支援		
中小企業アドバイザー事業	退職者の経験や知識を活かした中小企業に対する経営支援	82百万円
首都圏市場開拓イニシアティブ事業	地元情報技術関連企業等の首都圏進出を支援するため、東京事務所のビジネス支援拠点において販路拡大モデル事業等を実施	30百万円
起業や新分野進出に関する支援		
都心部空き店舗活用型創業支援事業	都心部に設置するチャレンジショップでの起業志望者に対する本格的な独立開業に向けた支援	30百万円
札幌元気基金事業 （創業チャレンジ支援事業）	創業時の資金面での支援のため、商店街で開業する者を対象とし、無担保融資制度を創設	1百万円
札幌元気基金事業 （ベンチャー支援事業）	先端技術産業分野で創業を目指す者等を対象とした人的支援と資金的支援の新たなしくみづくり	355百万円

重点戦略課題	安心して働ける環境づくり
<p>■施策の基本方針</p> <p>建設業などの構造不況業種について総合的な支援策を実施するとともに、特に再就職を目指す女性、中高年、若年や障がいのある人などが就労するための支援や、労働相談に対する支援を、国などの関係機関と連携しながら進めていきます。また、環境都市の実現などを目指す中で、新たな働き方や多様な雇用の場の創出を図るなど、雇用の安定に取り組んでいきます。</p>	

施策・事業名	事業概要	事業費
積極的な就労支援と労働相談に対する支援		
就業サポートセンター事業	再就職を目指す女性、中高年齢者を主な対象に、ワンストップ（1カ所の訪問）型の就業支援拠点を設置し、各種支援を実施	418百万円
インターンシップアドバイザー事業	インターンシップ（就業体験）を受け入れる事業所を対象にアドバイザーを派遣	10百万円
ITを活用した障がい者在宅就労支援事業	障がいのある人のITを活用した在宅就労に関する効果的な支援のしくみの検討、構築	5百万円
母子家庭等就業支援センター事業	母子家庭等に対して就職相談、技能講習会、情報提供など総合的な就業支援を実施	62百万円
離職者総合相談事業	企業の倒産等により一時的に多数の離職者が発生した場合に国等と連携して総合的な相談会を実施	4百万円
労働、職場環境に関する問題の解決支援	労働に関する問題解決のための情報提供等を、国や道などと連携して実施	1百万円
多様な雇用機会の創出		
雇用創出型ニュービジネス立地促進事業	企業の事務処理拠点やコールセンターの立地促進を図るための誘致PR、人材育成、補助など	506百万円
緊急雇用創出事業	札幌市独自の緊急雇用対策として、新規高卒者等の若年未就職者200人程度を臨時的任用職員として緊急的に採用	1,128百万円
レンタルファーム実験事業	異業種や市民の農業参入手法の検討と実践事業の展開	13百万円
建設業等構造不況業種対策		
建設業等構造不況業種に対する総合支援事業	建設業等に対し、人材育成、情報提供、IT化補助等の総合的な支援策を実施	70百万円
コミュニティ型建設業創出事業	家屋補修・除雪等地域の生活ニーズと、建設業の技術等をつなぎ、結びつけるためのモデル事業の実施など	25百万円

注1：事業費は、計画期間（平成16～18年度）に見込まれる事業費の合計を示しているが、数値は計画策定時における参考値であり、今後の予算編成を拘束するものではない。

注2：事業費が「－」となっている事業は、しくみづくりや規制の緩和など事業実施に特段の事業費を必要としないものや、事業内容の詳細が未確定なため事業費の見積りが困難なものなどについて、事柄のみを計画化したものである。

（以下同じ）

重点戦略課題

協働による観光振興とコンベンション事業の推進

■施策の基本方針

世界の集客交流都市さっぽろの実現に向けて、札幌の基幹産業の一つである観光やコンベンションの一層の振興に努めていきます。

道内各市町村との連携や市民・企業との協働により、まち全体で誘致・PRやホスピタリティあふれるおもてなしを進めるとともに、芸術や地域文化などのハード・ソフトの資産を集客交流資源として積極的に活用しながら、札幌独自の魅力づくり、情報発信を進め、将来目標として来客2,000万人を目指します。

施策・事業名	事業概要	事業費
集客交流都市としての魅力の発信		
芸術・文化を活用したまちの魅力発信事業	イサム・ノグチ、モエレ沼公園等をテーマにした観光客誘致プロモーション（宣伝活動）を展開	16百万円
映像を活用したまちの魅力発信事業	在札若手映像作家による映画、テレビなどのロケーション地（撮影場所）のショートストーリー（短編映画）制作と作品紹介	5百万円
集客交流・シティPRキャンペーン（ビジュアルプロジェクト）	札幌のさまざまな魅力を視覚に訴え、来札意欲を高める事業	90百万円
首都圏シティPR事業	公共交通機関での映像配信など各種媒体の効果的な利用や集客イベントなどを通じた首都圏でのシティPRを推進	79百万円
ホスピタリティ向上の推進		
集客交流・シティPRキャンペーン（おもてなしプロジェクト）	市民、企業と協働して、まち全体で来訪者を温かく迎える事業	46百万円
ホスピタリティ育成支援事業	観光業界等を対象としたホスピタリティ研修等に助成	6百万円
コンベンション誘致・支援の推進		
集客交流・シティPRキャンペーン（コンベンションプロジェクト）	国内外から会議やイベントを積極的に誘致する事業	50百万円
住んで快適、訪ねて楽しいまちづくりの推進		
藻岩山観光魅力アップ構想推進	藻岩山の魅力向上に向けた市民議論と基本構想、事業計画の策定など	12百万円
定山溪温泉活性化補助	定山溪地区の観光活性化に向けた自主的なまちづくり活動や、来客誘致PRなどに対する補助	9百万円
国際化推進プラン推進事業	外国人市民の生活必要情報の提供を充実するとともに、外国人も参加する市民会議で国際化のまちづくりについて検討	12百万円
道内各市町村と連携した魅力の発掘・アピール		
札幌ビジターズセンター事業	道内観光情報の発信などを行うおもてなしの中核拠点に対する支援	—
フードランド北海道開催費補助	道産食材の消費拡大、観光客誘致を目的としたイベントに対する補助	30百万円
丘珠空港整備と空港周辺のまちづくり事業	丘珠空港の機能保持のための整備費を負担するとともに、空港緑地の整備など丘珠空港周辺のまちづくり構想に基づく事業を推進	3,477百万円

重点戦略課題	さっぽろの知恵を活かした特色ある産業の振興
---------------	------------------------------

■施策の基本方針

大学などの研究機関がもつ知の資産と産業とを結び、IT、ライフサイエンス、福祉、環境などの分野で新たな産業をつくっていきます。また、デザイン産業を振興するなど、札幌の都市イメージを活用し、独自の魅力を持つさっぽろブランドを確立・発信していきます。

施策・事業名	事業概要	事業費
大学の知恵とITを活用した新産業の創出と既存産業の高度化		
IT関連人材育成拠点の整備	即戦力となる高度IT人材の育成、アジアのIT企業との連携と札幌進出の拠点整備に向けた取り組み	-
首都圏市場開拓イニシアティブ事業【再掲】	地元情報技術関連企業等の首都圏進出を支援するため、東京事務所のビジネス支援拠点において販路拡大モデル事業等を実施	30百万円
IT・バイオネットワーク構築事業	関東や関西地域と本市企業の連携促進、バイオ分野の人材発掘	19百万円
デジタルコンテンツビジネスの振興による芸術文化産業の創造	芸術文化産業の育成と札幌の魅力発信に向けて、デジタルコンテンツビジネスの基盤確立への取り組みを推進	-
大学成果活用推進事業	北大等の知の集積を活かした「リサーチ&ビジネスパーク構想」推進のため、研究開発や成果活用を支援	45百万円
環境関連産業振興事業	エコプロフィットの考え方の普及と新たなビジネスモデルの試行実施に向けた調査	15百万円
札幌の都市イメージを活用したさっぽろブランドの発信		
札幌ブランド構築・推進事業	札幌ブランドを構築・推進するため、戦略的な会議の設置、コンペ開催、ギャラリー開設、人材育成等を実施	75百万円
食産業振興プロジェクト事業	市内のみならず道内産品も対象とし、付加価値を高めるなど、さまざまな経済活動の過程で食産業を支援	36百万円
「顔の見える農業」推進事業	地産地消を基本とし、札幌産の新鮮で質がよく安心して食べられる農畜産物の流通販売促進、消費拡大	12百万円
スローライフ運動の展開	「食」「花」「健康」をテーマとしてゆとりや環境保全意識等をはぐくんでいくスローライフ運動の展開を支援	2百万円

重点戦略課題

アジアを中心とした産業ネットワークの拡大

■施策の基本方針

成長著しいアジアなどとの経済交流を促進するため、国際都市としての札幌の魅力づくり・情報発信を強化し、市内企業のビジネスチャンスの拡大や技術の高度化を図るとともに、観光客などの誘致活動も積極的に進めていきます。

施策・事業名	事業概要	事業費
経済交流の促進		
アジア圏経済交流促進事業	アジア圏での企業の販路拡大を支援するため、物産展の開催やビジネス交流を促進	40百万円
国際化推進プラン推進事業【再掲】	外国人市民の生活必要情報の提供を充実するとともに、外国人も参加する市民会議で国際化のまちづくりについて検討	12百万円
集客交流の促進		
国際観光誘致事業	東アジアを中心に、オセアニア地域も対象としたイメージ発信、宣伝、旅行商品開発支援など	37百万円
東アジア都市間交流推進事業	中国、韓国から映像文化などのキーパーソン（中心人物など）を招いて都市間交流を深めるとともに、両国の都市で札幌をPR	10百万円

基本目標2：健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

■望ましい街の姿

高齢者、障がいのある人、子どもをはじめ、誰もが互いに理解し尊重しあいながら、地域の中でふれあい、支えあって、安心して生きいきと健康に暮らしています。

地域の交流や支えあいを通じた人と人とのネットワークが核となってさまざまな分野に市民活動の輪が広がり、課題の解決や目標の実現に向けて個性ゆたかな地域づくりが進められています。



重点戦略課題	魅力あふれる地域づくりの推進
■施策の基本方針 市民の主体的なまちづくり活動をさまざまな側面から支援するとともに、地域住民のふれあい、活動団体間の情報の共有・交流やネットワーク化などを通じて、協働による地域のまちづくり活動を促進し、区や地域の特性を活かした魅力的で活力あふれる市民自治によるまちづくりを進めます。	

施策・事業名	事業概要	事業費
市民の主体的なまちづくり活動の支援		
わたしたちの児童会館づくり事業	子どもたちが児童会館の運営等に参加し、自分たちの意見を反映できるしくみづくり	—
元気活動創出事業	市民の有する力を活かす企画提案型モデル事業や市民活動促進条例の制定に向けた市民議論などを実施	28百万円
市民との協働による都市計画制度の普及	市民参加の勉強会や都市計画ガイドの作成などを通じた市民との協働による都市計画制度の啓発・普及	24百万円
地域のまちづくり活動推進事業	地域住民に身近な区などを窓口としたまちづくり活動への効果的な支援についての調査・検討など	17百万円
札幌元気基金事業 (さっぽろ元気NPOサポートローン) 【再掲】	市民活動団体が金融機関から活動に必要な融資を円滑に受けることができるよう支援を実施	23百万円
地域住民のふれあい、活動団体間の情報の共有・交流やネットワーク化の促進		
まちづくりセンター開設事業	情報交流機能を整備して各団体の幅広い連携を促進し、地域の活動の拠点としての機能を強化	122百万円
まちづくり協議会の設立および活動促進のための支援事業	各まちづくりセンターにおけるまちづくり協議会設立や活動促進のための支援を実施	43百万円
既存施設を活用したNPOとの協働による新しいコミュニティ拠点づくり事業	「ターミナルプラザことにパトス」をNPOによる運営に転換するとともに、市民活動団体フォーラムなどを展開	23百万円
区や地域の特性を活かした市民自治によるまちづくりの推進		
北区北部地区の地域ビジョンづくり	北区北部地区（篠路、太平百合が原、拓北・あいの里）における地域ビジョンの策定	8百万円

施策・事業名	事業概要	事業費
苗穂駅周辺のまちづくり事業	民間活力をいかしたまちづくりを進めるための、住民・企業・行政の協働によるまちづくり計画の策定	18百万円
地区まちづくり企画提案事業	厚別区において、地域での議論を通じ住民組織等が企画するまちづくり事業に対する委託制度を創設	5百万円
バス停周辺環境づくり	清田区内の旧国道36号のバス停を対象に、住民参加によるワークショップ方式を用いた、バス待合所の改善	6百万円
区民とつくる地区センターモデル事業 (仮称) 清田区地区センター建設)	(仮称) 清田区地区センターの建設に当たり、地域住民の交流・活動拠点づくりのモデルとしての取り組みを推進	170百万円

重点戦略課題	少子化対策の推進
<p>■施策の基本方針</p> <p>さまざまな市民の知恵や経験を活かして、地域での子育て支援体制を充実し、子どもが心身共に健やかに生まれ育つための環境づくりを推進するとともに、子育てと仕事などの両立を支援する取り組みを進めます。</p>	

施策・事業名	事業概要	事業費
地域での子育て支援体制の充実		
地域での子育てサロンの設置への支援	住民が主体となった地域での子育てサロンの立ち上げや活動を支援	8百万円
(仮称) 区子育て支援センター設置事業	通常の保育サービスに加え、常設の子育てサロンの運営などを通じて子育て家庭をきめ細やかに支援	544百万円
児童家庭支援センター事業の拡充	児童虐待など子どもや家庭に関する問題について24時間対応で専門的な相談・支援を行う事業を拡充	48百万円
保健と医療が連携した育児支援ネットワーク事業	医療機関と連携して、保健師等が育児不安を抱える母親への的確・迅速な訪問指導を実施	30百万円
子どもが心身共に健やかに生まれ育つための環境づくり		
特定不妊治療費助成事業	不妊に悩む夫婦に対して高額な負担を要する特定不妊治療費の一部を助成	212百万円
(仮称) 屯田北地区児童会館整備事業	子どもの増加が著しい屯田北地区に児童会館を新設	257百万円
ミニ児童会館整備事業	小学校の余裕教室を活用してミニ児童会館の整備を推進(14館整備)	139百万円
子どもや若者の健康に関する知識の普及啓発	保健センターと学校や医療機関との連携による健康教育の実施、効果的な相談体制の構築	26百万円
子育てと仕事などの両立支援の推進		
保育所待機児童対策事業	保育所の新設・改築整備などにより入所定員を拡充(1,530人分増)	2,698百万円
多様な保育サービスの充実	延長保育事業、一時保育事業、乳幼児健康支援デイサービス事業の実施箇所数を拡充	3,058百万円
児童クラブ等における障がいのある子どもへの対応の充実	児童クラブなどにおける障がいのある子どもの受け入れ体制の充実(受け入れ年齢枠の引き上げなど)	161百万円

重点戦略課題	地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進
<p>■施策の基本方針</p> <p>高齢者や障がいのある人が地域で自立した生活を送れるように、まちのバリアフリー化など安心・安全のための公共的施設の整備を進めるとともに、今後はさらに心のバリアフリーが広がるよう努め、多様な社会参加や地域生活の支援の充実を図ります。</p>	

施策・事業名	事業概要	事業費
高齢者や障がいのある人の地域生活支援の充実		
高齢者保健福祉計画策定	高齢者の生活環境や市民意識の動向などを踏まえ、高齢者保健福祉計画を総合的に見直し	25百万円
全身性重度障がい者24時間介護体制の確立	在宅で単身生活を送る全身性障がいのある最重度の人を対象とした介護サービスの24時間化を推進	388百万円
重症心身障害児（者）通園事業の拡充	重症心身障害児（者）を対象に、通所により日常生活訓練や健康管理を行う事業を拡充	327百万円
障がい者グループホームの拡充	知的障がいや精神障がいのある人の地域での自立した共同生活の場となるグループホームを拡充	—
福祉除雪事業	高齢者や障がいのある人の世帯を対象に、地域住民や企業等と協働して間口除雪などを実施	266百万円
「2015年の高齢者介護」推進事業	身近な地域での介護サービスのあり方の研究や、痴呆性高齢者とその家族への支援体制の強化など	33百万円
既設市営住宅バリアフリー化事業	既設の市営住宅へのエレベーター設置の検討などバリアフリー化に向けた取り組みを推進	9百万円
高齢者や障がいのある人の社会参加の促進		
障がい者への理解促進事業	関係団体などとの連携により、障がいのある人との交流促進のためのイベント等を開催	1百万円
障がい者による政策提言サポーター制度の運営	障がいのある人自らがサポーターとなり、当事者の視点から政策提言を実施	3百万円
ねんりんピック（全国健康福祉祭）開催準備	「ねんりんピック 北海道・札幌市大会（平成21年）」の開催へ向けた基本構想の策定など	5百万円
ITを活用した障がい者在宅就労支援事業【再掲】	障がいのある人のITを活用した在宅就労に関する効果的な支援のしくみの検討、構築	5百万円
まちのバリアフリー化など安心・安全のための公共的施設の整備		
福祉のまちづくり環境整備事業	地下鉄駅へのエレベーターや車いす使用者用トイレの整備を推進	2,814百万円
地下鉄駅施設のバリアフリー化の推進	地下鉄駅について、視覚障がい者誘導用ブロックやオストメイト対応トイレなどを整備	846百万円
車いす対応券売機・改札機・精算機の導入	地下鉄駅について、車いす使用者や視覚障がい者などの利便性向上のため、ワイド型改札機や傾斜型券売機・精算機を導入	2,213百万円
交通バリアフリー推進事業	交通バリアフリー基本構想の取り組み状況等を情報提供するとともに、公共交通事業者の施設整備に対して補助	130百万円
ユニバーサルデザインの公園づくり事業	地域の公園の車いす対応化、段差解消などユニバーサルデザイン化を推進	1,140百万円

重点戦略課題

地域での健康づくりの推進

■施策の基本方針

市民一人ひとりが生涯を通じて健康であることを目指し、市民の健康づくりについての意識を高め、主体的な取り組みを支援していくとともに、地域、企業、学校その他関係機関などと連携し、健康づくりを支える環境の充実を図ります。

施策・事業名	事業概要	事業費
一人ひとりの健康づくりの支援		
「健康さっぽろ21」推進事業	市民の健康づくりへの関心を高めるきめ細やかな情報提供、企業や職域との連携の基盤づくりなど	34百万円
「食育」推進事業	食生活指針の策定、フォーラムの開催、ボランティアとの連携による普及啓発活動など	5百万円
歯周疾患検診事業の充実	歯周疾患検診の対象年齢を拡大（60歳、70歳を追加）	40百万円
地域での健康づくりの促進		
地域での健康づくり活動推進事業	地域での健康づくり活動の中心的役割を担う人材の養成、グループ活動やネットワークづくりの支援	57百万円
東区パートナーシップヘルスケア事業	健康づくり組織の育成と、生活習慣を改善するための声かけや誘いかけなどの活動を支援	4百万円
地域スポーツクラブ育成支援事業	札幌らしい地域スポーツクラブのあり方を検討し、地域主体のスポーツクラブ運営に必要な情報提供機能を強化	1百万円
さっぽろスポーツキャラバン隊	地域密着型レクリエーションスポーツの普及・振興のため、地域に出向いてスポーツや健康づくりなどのプログラムを提供	10百万円
健康づくりを支援する社会環境の充実		
「健康さっぽろ21」推進事業【再掲】	市民の健康づくりへの関心を高めるきめ細やかな情報提供、企業や職域との連携の基盤づくりなど	34百万円
外食料理栄養成分表示の推進	栄養成分表示を実施している外食料理店マップの作成、ボランティアによる普及活動など	4百万円
子どもや若者の健康に関する知識の普及啓発【再掲】	保健センターと学校や医療機関との連携による健康教育の実施、効果的な相談体制の構築	26百万円

基本目標3：世界に誇れる環境の街さっぽろ

■望ましい街の姿

多雪・寒冷な気候がもたらす北国らしい明瞭な四季を通じて、みどりや水辺、雪など変化に富んだ自然環境を身近に楽しむことができ、ゆたかな自然と共生する美しい街並みに多くの市民が誇りと愛着を感じています。

都心部や地域の中心などでは、都市機能がコンパクトに集積し、エネルギー利用効率や公共交通の利便性に優れ、誰もが大都市ならではの快適な生活を安心して送ることができます。

市民一人ひとりが、資源やエネルギーをできる限り使わない、ごみを発生させないことなどを基本とする、環境保全活動に積極的・自発的に取り組み、実践する暮らしが生活文化として定着し、環境に恵まれたゆたかな札幌を共に築きあげ、将来世代に継承していこうという意欲にあふれています。



重点戦略課題	水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現
■施策の基本方針 人間活動による負荷を少なくし、多様な生態系に配慮しながら、良好な水環境の維持・回復を図るとともに、水辺の保全やせせらぎの回復などを通じて、みどりゆたかで清らかな水辺を創出していきます。 また、札幌の大きな魅力となっているゆたかなみどりを30%増やすことを目指して、市民や企業などと共にもどりの保全・育成を進め、まちのみどりのボリュームアップを図ることで、みどりを基調としたうるおいのある美しく風格ある街並みをつくりあげていきます。	

施策・事業名	事業概要	事業費
水やみどりを楽しむ心の醸成		
水とみどりにふれあう活動支援事業	公園ガイドの育成、市民活動拠点の確保や公園ごとの利用ルールの策定など	6百万円
水環境計画推進事業	水環境保全に関する活動支援や間接冷却水等の枯渇河川への導水についての調査・検討など	9百万円
水辺の保全・創出		
豊平川水道水源水質保全事業	水道水源である豊平川流域の水質保全のための調査の実施および実行計画の策定	65百万円
下水処理場の高度処理化事業	河川水量の相当部分を占める下水処理水の水質向上を目指して、高度処理を導入	285百万円
水と緑のネットワーク事業	札幌北部地区の水枯れ河川に、豊平川から導水し、せせらぎの回復や良好な水質を確保	314百万円
多自然型河川整備事業	自然の保全や生物等の生息環境に配慮し、自然と人がふれあえるゆたかで親しみのある水辺の保全と創出	435百万円
みどりの保全・育成		
みどり資源の保全推進事業	緑地保全地区の指定や市民の森制度の活用などにより都市近郊林の保全を推進	1,454百万円
市民がみどりを守り育てるしくみづくり事業	公園ボランティアなど、より多くの市民が公園種別にかかわらず管理運営に参加できる制度の確立など	8百万円

施策・事業名	事業概要	事業費
みどりのボリュームアップ		
緑化重点地区における公園整備事業	緑化重点地区における公園の整備を市民参加により計画的に推進	7,192百万円
公共施設緑化のしくみづくり事業	学校や庁舎などの緑化、条例の規定を上回る市有施設の緑化基準の制定	62百万円
市民によるみどりづくり事業	市民植樹祭を拡充するとともに、地域で植栽する花苗を住民自ら育成する活動を支援	19百万円

重点戦略課題	地球環境問題への対応と循環型社会の構築
<p>■施策の基本方針</p> <p>地球温暖化の防止に向けて、市民・事業者・行政が一体となってCO₂の排出量10%削減を目指します。環境問題の深刻さについて市民の理解を深めると同時に、市民の日常生活の中に環境行動のムーブメントを起こします。さらに、札幌市が率先してエネルギーの有効利用をはじめとする環境行動を推進し、その成果を市民・事業者などへ波及させる取り組みを進めます。</p> <p>また、大量生産・大量消費・大量廃棄を基調とした「ワンウェイ型」社会から循環型社会への転換を図るため、企業の事業活動や市民の日常におけるごみの発生抑制、再利用、リサイクルを推進するとともに、環境に配慮したごみ処理を徹底します。</p>	

施策・事業名	事業概要	事業費
環境意識の醸成と行動の喚起		
CO ₂ 削減アクションプログラム	環境マラソン講座などCO ₂ 削減に向けたさまざまな事業を連携させて集中的に実施	330百万円
地球に優しいまちづくり推進事業	西区を環境モデル区として位置づけ、西区民会議の創設など地域に密着した事業を展開	—
札幌・環境力・UP事業	環境保全行動の喚起・促進・持続に向け、全市的な運動に広がる統一的な標語の検討、イベントなどを活用した運動の展開	13百万円
行政の率先行動と市民などへの波及		
篠路清掃工場延命化事業	老朽化・旧態化した主要設備を抜本的に再構築し、施設の延命化を実施	1,200百万円
新たな視点による環境共生型公共建築物の整備事業	公共建築物整備において、外断熱工法や自然エネルギーの活用など、建物の長寿命化や環境共生に向けた取り組みを推進	8百万円
藻岩浄水場小水力発電所の整備	藻岩浄水場の余剰水圧を有効利用した水力発電施設の更新および発電能力の増強	384百万円
都市再生プロジェクト推進事業	地域熱供給事業者が検討する都心部のエネルギーネットワーク構築についての調査などへの支援	12百万円
市民・民間事業者への省エネ・新エネ設備導入推進事業	地中熱を利用した設備などの導入に対する補助	75百万円
風力発電事業性評価業務	風況調査、採算性評価、事業の実施形態の調査など	10百万円
ごみの発生抑制のしくみづくり		
ごみ減量アクションプログラム支援事業	(仮称)ごみ減量実践活動ネットワークの設置、ごみ減量に向けた市民等の自主的な活動の支援	27百万円
蛍光管の拠点回収・リサイクル事業	回収協力店を利用した家庭から排出される蛍光管の拠点回収・リサイクル	73百万円

施策・事業名	事業概要	事業費
環境に配慮したごみ処理体制の確立		
ごみ埋立地搬入指導強化事業	ごみ埋立地の延命化を図るため、搬入ごみ監視要員（「ごみGメン」）を配置し、受け入れ基準外のごみの排除を徹底	72百万円
新たな生ごみリサイクルの検討事業	生ごみについてのリサイクル処理に関する調査・検討	10百万円
事業系ごみリサイクルシステム構築事業	事業系の紙ごみの減量に向け、モデル事業所を育成するなどリサイクルシステムを構築	10百万円

重点戦略課題	北国らしいゆたかな暮らしの実現
<p>■施策の基本方針</p> <p>冬の遊びやスポーツをはじめ市民が雪に親しみ、楽しむ機会を大切にしながら、一年を通して市民が快適に生活できる、北国らしい暮らしを創造するとともに、雪を貴重な資源という視点で見つめ直し、上手に活用する取り組みを進めます。</p> <p>冬の暮らしを支える雪対策については、市民・企業・行政が連携しあいながら、地域特性に応じて効果的・効率的に進めます。</p>	

施策・事業名	事業概要	事業費
北国らしい暮らしの創造		
冬の生活文化情報発信事業	ホームページの開設や広報誌の発行により、札幌特有の冬のライフスタイルや生活文化に関する情報を提供	10百万円
冬の公園利用活性化事業	地域が主体となった冬の公園利用のきっかけづくりや、冬季の屋外活動を支援する指導員の養成など	—
世界冬の都市市長会議事業	世界冬の都市市長会議に参加し、その成果をまちづくりに活用（17年度・第12回市長会議（長春市））	22百万円
ウインタースポーツの活性化		
2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会の開催	大会の開催に向けた白旗山競技場および宮の森ジャンプ競技場の整備と、準備・開催経費に対する補助を実施	5,384百万円
ウインタースポーツフェスタ in 大倉山	大倉山ジャンプ競技場を遊び場に活用し、子ども中心の冬の屋外スポーツ・レクリエーションの場として展開	5百万円
ウインタースポーツ振興事業	地域での取り組み状況の調査と、身近にウインタースポーツに親しむ地域レベルでの活動を推進	3百万円
多雪・寒冷な気候特性の積極的な活用		
都心北融雪槽活用雪冷熱エネルギー利用実証運転事業	都心北融雪槽を活用した雪冷熱エネルギー利用システムの実証運転、実用化に向けた課題の整理など	13百万円
ウインタースポーツフェスタ in 大倉山【再掲】	大倉山ジャンプ競技場を遊び場に活用し、子ども中心の冬の屋外スポーツ・レクリエーションの場として展開	5百万円
地域特性に応じた効果的・効率的な雪対策の推進		
歩道の凍結路面対策による歩行環境の改善	冬期間における公共施設周辺などの歩道の凍結防止剤の散布および砂箱設置	177百万円
地域に密着した雪処理の推進	生活道路のパートナーシップ排雪、下水道を活用した融雪槽の整備など	512百万円

重点戦略課題	歩いて暮らせる快適で美しい街の創造
<p>■施策の基本方針</p> <p>歩行者や自転車利用者に配慮して、公共交通機関を軸とした環境に負荷をかけない交通体系を確立するとともに、駅やターミナルなどがある交通の要所（交通結節点）をはじめとする地域の中心となる拠点に視点をおいたまちづくりを、美しい都市景観に配慮しながら進めます。</p> <p>「まちの顔」となる都心については、質の高い生活の場であり、まちの魅力を表現する場として、人と環境を重視した再生を進めます。</p>	

施策・事業名	事業概要	事業費
環境に負荷をかけない公共交通の利用促進		
交通バリアフリー推進事業【再掲】	交通バリアフリー基本構想の取り組み状況等を情報提供するとともに、公共交通事業者の施設整備に対して補助	130百万円
公共交通ICカード導入検討	公共交通の利便性の向上や利用しやすい料金サービスの実現に向けて、公共交通ICカードの導入について検討	18百万円
魅力ある地下鉄等料金サービスの提供	新たな料金制度について検討し、マイカーからの利用転換を誘発する魅力ある料金サービスを提供	123百万円
路面電車経営形態検討調査	民間活力の導入による新たな経営形態など今後の路面電車事業のあり方について調査・検討	5百万円
地域の中心となる拠点のまちづくり		
交通結節点改善事業	自由通路、駅前広場の整備などJR白石駅周辺の改善	100百万円
民間再開発による地域まちづくりへの支援事業	JR琴似駅北口地区、琴似4条1・2丁目地区、北8西3東地区、東札幌1条地区における再開発事業を支援・促進	6,487百万円
歩道バリアフリー化事業	重点整備地区における特定経路の歩道の勾配（こうばい）改善、段差解消や視覚障がい者誘導用ブロック設置など	2,100百万円
歩行者と自転車の共存する空間の創出事業	歩行者と自転車が共存した道路などの公共空間創出のため、放置自転車対策の強化および駐輪場の整備	535百万円
都市景観重要建築物等の保全事業	都市景観上重要な建築物等を保存するための支援を行い、市民等と協働して札幌の歴史や文化を物語る街並み景観の保全を推進	10百万円
大通・駅前通の景観保全型広告整備地区の指定	大通および札幌駅前通の景観保全型広告整備地区への指定や屋外広告物掲出のルールづくりなど	—
都心の再生		
札幌駅前通地下歩行空間整備事業	地下鉄「さっぽろ駅」と「大通駅」を連絡する公共地下歩行空間の整備	3,582百万円
創成川通アンダーパス連続化事業	創成川通の南北2つのアンダーパスを連続化し、交通の円滑化を図るとともに親水空間を創出	6,868百万円
緑を感じる都心の街並み形成計画策定および推進事業	都心部における道路、公園、建物敷地内の広場などのオープンスペースのネットワーク計画の策定など	33百万円
都心交通計画推進事業	人と環境を重視した都心交通に向けた社会実験や市民議論、施策効果の点検・評価などにより、都心交通計画を効果的に推進	191百万円

基本目標4：芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ

■望ましい街の姿

誰もが気軽に参加できる小さな表現活動をはじめとしたさまざまな文化活動がまちのいたるところで行われているとともに、市民のライフスタイルに合わせた多様なスポーツ活動に応える環境づくりが進み、文化、スポーツを身近なものとして感じられます。

札幌ならではの優れた芸術や伝統文化に触れる機会が充実するとともに、スポーツにおけるさっぽろブランドが高まり、札幌のまちの個性として独自の文化をはぐくんでいます。

芸術・文化やスポーツの魅力あふれる札幌の都市文化を世界に向けて発信し、国内外の人たちとの交流を深めるとともに、多くの観光客が札幌を訪れています。



重点戦略課題	芸術・文化の薫る街の実現
<p>■施策の基本方針</p> <p>音楽芸術の中核施設である札幌コンサートホール（キタラ）の教育活動をはじめ、国内外との交流や芸術・文化の振興を担う指導者や専門家の自由な創造活動などを通じて、世界都市さっぽろならではの優れた芸術・文化に親しめる環境を充実します。</p> <p>さらに、市民が、まちのいたるところで多様な芸術・文化を楽しみながら実践し、表現・発信できる文化の薫るまちづくりを進めます。このため、誰もが気軽に参加できるさまざまな文化活動の振興に向けて、これらの活動に取り組んでいる市民やNPOの活動拠点などを支援します。</p> <p>また、地域の優れた自然、文化、史跡などの文化遺産の保存と活用を推進するとともに、先住民族文化と交流し学ぶ機会をつくることで市民理解の促進を図ります。</p>	

施策・事業名	事業概要	事業費
多様な芸術・文化に親しみ、交流・発信する環境づくり		
芸術文化による札幌の魅力創出事業	札幌の郷土芸能を紹介したり、国内外のアーティストが参加するイベント等芸術文化により札幌の魅力を創出	10百万円
アーティスト・イン・レジデンス事業費補助	国内外の芸術家が札幌に一定期間滞在し、創作活動を通じて地域等との交流を深める事業に対する補助	2百万円
PMF事業費補助等	世界3大教育音楽祭の一つであるパンフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）に対する支援	588百万円
北海道舞台塾事業費負担	道民の舞台芸術活動の活性化やすそ野の拡大を図る「北海道舞台塾」の経費を一部負担	15百万円
市民が自ら作り上げる文化活動の振興		
芸術文化団体等情報発信事業	市内の文化団体の活動状況や活動施設の調査を行い、ホームページ上で紹介	8百万円
舞台芸術創作活動支援事業	NPO等が舞台芸術の創作、発表の活動拠点を確保する場合、一定期間の賃借料補助などにより支援	10百万円
文化活動練習会場学校開放事業	小学校の多目的室などを活用し文化活動団体に練習会場として開放	53百万円

施策・事業名	事業概要	事業費
札幌の芸術・文化を担う人材の育成		
Kitarafirstコンサート事業	市内の小学校6年生を対象に、オーケストラ演奏を鑑賞・体験する機会を提供	94百万円
芸術体験キッズプロジェクト事業	子どもたちが大人と共に舞台芸術を学び、成果を発表したり、美術、工芸、音楽などのさまざまな芸術を体感	10百万円
文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承		
文化財施設整備事業	時計台、豊平館、旧永山武四郎邸などの文化財を良好な状態で保存・活用し後世に継承	151百万円
都市景観重要建築物等の保全事業【再掲】	都市景観上重要な建築物等を保存するための支援を行い、市民等と協働して札幌の歴史や文化を物語る街並み景観の保全を推進	10百万円
文化資料室の移転	資料館の狭隘（きょうあい）化に伴い、館内施設のうち文化資料室に関する機能を旧豊水小学校校舎に移転	153百万円
インカルシベ・アイヌ民族文化祭	アイヌ民族の伝統文化の伝承・保存と市民への紹介を兼ねて、民族音楽祭やフォーラムなどを継続実施	4百万円

重点戦略課題	スポーツの魅力あふれる街の実現
<p>■施策の基本方針</p> <p>市民の誰もが身近でスポーツを楽しめる環境づくりを進めるとともに、地域住民が主体となった地域スポーツクラブを育成するしくみを検討します。また、市民と協働で総合的なスポーツ情報を提供するとともに、人材確保のしくみづくりや自然に親しむスポーツ活動の実践を進めていきます。</p> <p>さらに、スポーツにおけるさっぽろブランドを高めるため、札幌ならではの冬のスポーツの新たな楽しみ方を発信するとともに、地域に根ざしたプロスポーツを市民と共に育てます。</p>	

施策・事業名	事業概要	事業費
身近でスポーツを楽しむ環境づくり		
学校体育施設開放の充実	身近なスポーツ施設としての小・中学校体育施設について、新規開放の推進と冬期暖房の利便性を向上	35百万円
サッカー場整備用地取得	東雁来第2土地区画整理事業用地内に、民間団体がサッカー場などを整備するための用地を取得	1,653百万円
市民運動広場整備事業	北区新琴似での多目的・平面系の大規模市民運動広場の整備に向けて検討	32百万円
スポーツ情報の提供や人材確保のしくみづくり		
地域スポーツクラブ育成支援事業【再掲】	札幌らしい地域スポーツクラブのあり方の検討と、地域主体のスポーツクラブ運営に必要な情報提供機能の強化	1百万円
トップアスリートの積極活用	市民がトップスポーツに身近に接する機会の提供と、トップアスリートを指導者として派遣するしくみの構築	4百万円
トップスポーツの積極的活用		
ファイターズ屋内練習場市民開放事業	北海道日本ハムファイターズの屋内練習場の、少年野球を中心とした市民開放を促進	15百万円
トップアスリートの積極活用【再掲】	市民がトップスポーツに身近に接する機会の提供と、トップアスリートを指導者として派遣するしくみの構築	4百万円

施策・事業名	事業概要	事業費
ウインタースポーツの活性化【再掲】		
2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会の開催	大会の開催に向けた白旗山競技場および宮の森ジャンプ競技場の整備と、準備・開催経費に対する補助を実施	5,384百万円
ウインタースポーツフェスタ in 大倉山	大倉山ジャンプ競技場を遊び場に活用し、子ども中心の冬の屋外スポーツ・レクリエーションの場として展開	5百万円
ウインタースポーツ振興事業	地域での取り組み状況の調査と、身近にウインタースポーツに親しむ地域レベルでの活動を推進	3百万円
健康づくり運動とスポーツ振興の連携		
さっぽろスポーツキャラバン隊【再掲】	域密着型レクリエーションスポーツの普及・振興のため、地域に出向いてスポーツや健康づくりなどのプログラムを提供	10百万円

基本目標5：ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ

■望ましい街の姿

子どもたちは、地域の中で温かく見守られながら、夢や目標の実現に向かって学習やスポーツに生きいきと取り組むとともに、社会の一員として、家族や友人と一緒にボランティアや地域活動にも積極的に参加しています。

市民の誰もが、それぞれのライフステージで自らを磨き高め、ゆたかな人間性や創造性を培い、さまざまな機会でまちづくりに参加するとともに、自分の可能性に挑戦し海外でも活躍するなど、人生に生きがいや楽しさを感じながら暮らしています。



重点戦略課題	自立した市民に育てる教育の推進
■施策の基本方針 学校、家庭、地域などが、それぞれの役割を果たすとともに連携を一層充実し、思いやりとゆたかな心をはぐくむ環境づくりと学びの意欲を育てる教育を推進することで、子どもたちの生きる力を伸ばし自立した市民に育成します。 また、人間尊重、国際理解、環境問題、情報化などの今日的な課題に対応する教育を推進します。	

施策・事業名	事業概要	事業費
思いやりとゆたかな心をはぐくむ環境づくり		
家庭教育学級	幼稚園、小・中学校のPTAを対象に、子どもの心の理解、親の役割などについて自主学習する「家庭教育学級」を実施	50百万円
不登校対策の推進	中学校、高等学校へのスクールカウンセラー配置や、相談指導学級等での不登校児童生徒への支援の充実など	547百万円
林間学校	夏・冬休み期間中に児童が野外活動を体験する「林間学校」を実施（18年度障がい児との統合コース新設）	26百万円
さっぽろ夢大陸 「大志塾（仮称）」事業	子どもたちが、自由な発想で企画した活動を自分たちの力で進めていく場を提供（サッポロさとらんど内の未整備地で実施）	9百万円
わたしたちの児童会館づくり事業 【再掲】	子どもたちが児童会館の運営等に参加し、自分たちの意見を反映できるしくみづくり	—
「子どもの権利」推進事業	「子どもの権利条約」の普及啓発と「子どもの権利条例」の制定	24百万円
学びの意欲を育てる教育の推進		
楽しさとゆとりのある給食推進事業	小・中学校の食器具改善とランチルーム備品の整備	551百万円
学校適正配置計画の策定	良好な教育環境確保のため、市内小・中学校の適正配置計画を策定	8百万円
特殊学級整備	特殊学級の対象となる児童生徒が可能な限り地域の学校で学べるよう、特殊学級を整備	167百万円
新しいタイプの定時制高校設置	市立4校の定時制課程を発展的に再編し、新しいタイプの定時制高校を新設	35百万円

施策・事業名	事業概要	事業費
地域に開かれた学校づくりの推進	総合的な学習の時間等における地域人材の積極的な活用と、開かれた学校の創造に関する実践的な研究の実施	102百万円
学校開放地域活動モデル事業	放課後、休日、総合的な学習の時間などにおける子ども向けプログラムを地域主体で企画・実施	8百万円
学校図書館地域開放事業	子どもや住民の読書活動を盛んにし、地域の教育力向上と子どもの健全育成のため、学校図書館を地域に開放	225百万円
国際理解教育の推進 (外国語指導助手招致)	中学校、高等学校での外国語（英語）教育のための外国語指導助手を招致	573百万円

重点戦略課題	さっぽろを支え、発信する人づくり
<p>■施策の基本方針</p> <p>子どもから高齢者まで、市民の誰もがさまざまな学習に取り組みその成果を地域の活動などに発揮できる環境をつくっていくとともに、国際的視野を持ちながら地域への貢献を果たす（仮称）札幌市立大学の設置や高等教育機関との連携強化に向けての取り組みを進め、これからの社会を担う人材を育成します。</p>	

施策・事業名	事業概要	事業費
多様な学習機会の提供とその成果を発揮できる環境づくり		
新たな生涯学習推進構想の策定	札幌市における今後の生涯学習推進の指針となる新たな構想を策定	3百万円
さっぽろ市民カレッジ	さっぽろ市民カレッジを実施するとともに、ボランティア講師養成とインターネット講座開設に関するモデル事業を実施	31百万円
図書館施設の拡充	図書館施設のネットワーク化を進めるとともに、（仮称）八軒中央地区センター図書室を開設	58百万円
学校図書館地域開放事業【再掲】	子どもや住民の読書活動を盛んにし、地域の教育力向上と子どもの健全育成のため、学校図書館を地域に開放	225百万円
資料館の法廷復元と司法教育への活用	文化資料室移転後の資料館内に旧札幌控訴院の刑事法廷を復元・整備し、司法教育充実のための場として活用	75百万円
（仮称）札幌市立大学の設置と高等教育機関との連携強化		
市立大学設置事業	次代を担うデザイナーや看護職を養成するとともに、地域課題に幅広く貢献することを目指し、（仮称）札幌市立大学を設置（18年4月開学）	4,733百万円
大学等高等教育機関と連携した生涯学習の推進	市内、近郊の大学と生涯学習推進に関する協議機関を設置し、公開講座やリカレント教育などの連携を推進	—
さっぽろ市民カレッジ【再掲】	さっぽろ市民カレッジを実施するとともに、ボランティア講師養成とインターネット講座開設に関するモデル事業を実施	31百万円

その他の重点事業

事業名	事業概要	事業費
都心部3小学校跡施設・跡地の活用	市民や地域住民等との協働のもと、閉校した都心部3小学校の跡施設・跡地を有効活用	—
広域的連携モデルの構築事業	地域独自の資源を活用した先進的・実験的な取り組みなど、広域的連携のモデルとなる事業を推進	20百万円
市民自治推進事業	市民自治推進のためのプランを策定するとともに、市民会議での議論を深め、自治基本条例を制定	33百万円
安全・安心なまちづくり推進事業	安心・安全なまちづくりを目指し、防犯や防災についての市民の意識や他都市の取り組み状況などを調査	—
高齢者のための施設の整備	介護や日常生活上の支援を要する高齢者の増加に対応するため、特別養護老人ホームなどの施設を整備	3,130百万円
放火火災防止対策の強化	炎感知器を町内会に貸し出し、地域ぐるみでの放火防止活動の取り組みを促進	4百万円
救急業務高度化推進事業	救急業務での救命率の向上を図るため、救急救命士による気管挿管等の高度な救命処置に要する技術講習などを推進	143百万円
学校施設改築事業	耐震性能が低く、老朽化が著しい学校を計画的に改築	9,377百万円